

参考資料

分類名〔果樹〕

参 12

有望なリンゴ赤色系中生品種の果実特性

宮城県農業・園芸総合研究所

要約

宮城県におけるリンゴの有望な中生品種は、赤色系の「千代の紅」、「幸」である。

普及対象：リンゴを栽培する経営体
普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

県内のリンゴ生産現場では、食味や品質が良好な早生、中生品種が少ない上、品種構成が晩生品種の「ふじ」に偏重する傾向があり、作業や販売上の課題となっている。

そこで、主要品種と特徴が異なり、食味が優れ、県内での栽培に適する品種について検討した。その結果、赤色系の中生2品種について有望であると判断できたので参考資料とする。

2 参考情報

(1) 「千代の紅（商標名：千年の輝）」

「光義（「千秋」の枝変わり品種）」に「世界一」を交配し、長野県安曇野市で育成された中生品種である。S遺伝子型は S^1S^9 で、「つがる」、「シナノスイート」とは半和合、「ふじ」とは不和合である。収穫始めが10月上旬であり、「シナノスイート」と同時期である。1果重が大きく、硬度や糖度、酸度がやや高く、果汁やや多く、着色が良好である（表1、2、図1）。

(2) 「幸」

交雑親が「ふじ」、「つがる」、「千秋」、「東光」の混合種子を播いた中から選抜され、青森県弘前市で育成された中生品種である。S遺伝子型は $S^1S^3S^9$ の3倍体品種であるため、受粉樹には適さない。収穫始めが10月中旬であり、「シナノスイート」より1週間程度遅い。1果重がやや大きく、硬度や糖度、酸度がやや高く、肉質が優れ、果汁やや多く、年により少～中程度のみつが入る（表1、2、図1）。

表1 有望なリンゴ品種の果実特性(令和4～7年)

品種名(商標名)	1果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)
千代の紅(千年の輝)	416.3	14.4	15.4	0.60
幸	361.8	15.8	15.7	0.70
【対照】シナノスイート	307.3	12.6	14.5	0.39

※果実品質調査は「(独法)農研機構果樹研究所2007年3月発行の

育成系統適応性検定試験調査方法」における調査項目に従い各品種5果調査した

※「千代の紅」、「幸」は令和6年のみ鳥害により果実品質調査実施なし

※酸度はリンゴ酸換算値

品種名(商標名)	果皮色	玉揃い	着色	さび		肉質	果汁	甘酸	みつ入り 程度
				位置	程度				
千代の紅(千年の輝)	暗灰赤	中	や良	こうあ	少	中	や多	中～や酸	なし
幸	暗赤	中	中	こうあ	少	中～や良	や多	中	なし～中
【対照】シナノスイート	暗赤	や良	中	こうあ、がくあ	少	中～や良	中	中	なし

※果実品質調査は「(独法)農研機構果樹研究所2007年3月発行の育成系統適応性検定試験調査方法」における調査項目に従い各品種5果調査した

3 利活用の留意点

- (1) 「千代の紅」は着色が良好だが、収穫が遅れると肉質がやや軟らかくなるため、内部品質や食味を確認の上、適期収穫に努めること。
- (2) 「幸」は、収穫期がやや不揃いであるため、内部品質や食味を確認の上、適期収穫に努める。
- (3) 供試樹は、所内果樹ほ場（名取市、第三紀凝灰岩埴壌土）で栽培した。
（問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所露地園芸部 電話 022-383-8134）

4 背景となった主要な試験研究の概要

- (1) 試験研究課題名及び研究期間
宮城から発信する園芸作物生産技術の開発（令和6年～令和10年度）
- (2) 参考データ

表2 有望なリンゴ品種の生育ステージ(令和4～7年)

品種名(商標名)	台木	早晩性 ^z	樹齢 ^y	発芽日 ^x	開花始 ^x	満開日 ^x	収穫期 ^x	
							始	終
千代の紅(千年の輝)	M.9/マルハ [*]	中生	7	3月25日	4月19日	4月26日	10月8日	10月12日
幸	M.26/マルハ [*]			3月25日	4月18日	4月25日	10月13日	10月18日
【対照】シナノスイート	M.9/マルハ [*]	中生	13	3月28日	4月19日	4月26日	10月7日	10月17日

z: 10月中に収穫始を迎えた品種を「中生」とした

y: 令和7年時の樹齢

x: 各生育ステージは下記を基準として判定した令和4～7年の3か年平均

「千代の紅」は令和6年のみ鳥害により収穫期調査実施なし

発芽日: 花芽の先端が破れ、緑色の現れた芽が1樹内で2～3個以上になったとき

開花始: 連続して開花した最初の日(2～3の花が開いたとき)

満開日: 1樹内で80%程度の花が開いたとき

収穫期: 収穫始、収穫終とした

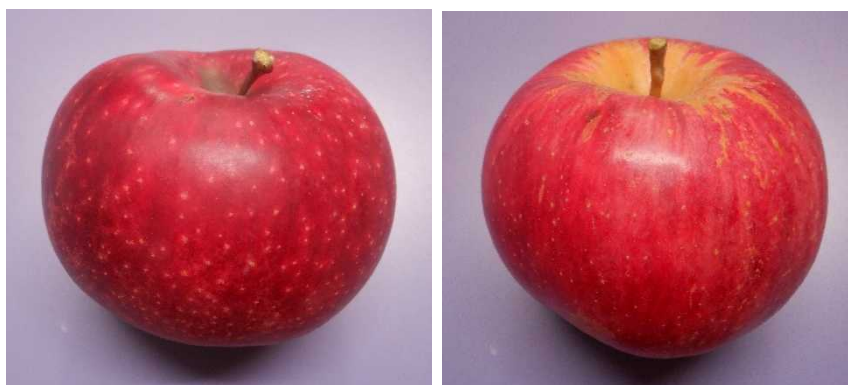


図1 有望な中生品種の果実(左:「千代の紅」、右:「幸」)

- (3) 発表論文等

- イ 関連する普及に移す技術
なし
- ロ その他
なし

- (4) 共同研究機関

なし